

平成18年度行政評価結果(平成17年度実施事業)

	所属名称	H17決算 (単位:千円)	事務事業名称	事業 の 必要 性	事業 の 優 先 性	事業 の 経 済 性	事業 の 有 効 性	事業 の 公 平 性	合 計	事業説明	事業活動指標	評価結果の具体的理由	評価結果
1	消防総務課	6,908	消防団活性化事業	4	3	3	3	3	16	地域防災の中核を担う消防団の活動環境の改善(被服貸与等)や団員の高齢化対策として、青年層や女性団員の入団を促進し、消防団の活性化を図った。 女性消防団員数 20人	女性消防団員数 20人	消防団活動の充実を進め、消防団組織の堅持を図り地域防災力を維持していくため。	継続
2	消防総務課	31,323	消防団施設整備事業	4	3	3	4	3	17	消防団施設の土地の有効化を図り、耐震性を有する鉄骨造の建物とすることにより、地域の防災拠点にふさわしい消防団施設とした。 鉄骨整備数 1施設	鉄骨整備数 1施設	今後も計画的な施設整備を図るため。	継続
3	消防総務課	116,414	消防車両整備事業	4	3	3	4	3	17	消防車両の更新基準及びNOx、PM法適用車両を更新し、火災等から市民の生命、身体及び財産の保護を図られた。 更新台数 12台	更新台数 12台	車両更新に併せ、複雑多様化する各種災害にも対応可能な特殊車両の整備を進めるため。	継続
4	消防総務課	20,380	消防水利整備事業	4	3	3	4	4	18	40トン以上の防火水槽を整備し、市街地等で火災が発生した場合の市民の生命、身体及び財産の保護を図った。 防火水槽整備数 40トン 2基	防火水槽整備数 2基	地震災害時、消火栓が使用不能な場合の代替水利として有効であるため。	継続
5	予防課	3,069	防火意識啓発事業	4	4	3	4	4	19	消防フェスティバル、防火管理講習会などを開催し、火災予防の意識高揚を図るとともに、事業所等における防火管理者の選任率の向上を図った。 参加・受講者数 4,540人	参加・受講者数 4,540人	内容等を精査しながら、防火意識の高揚手段として実施する必要があるため。	継続
6	厚木消防署	8,025	消防資器材整備事業	5	5	4	4	5	23	空気呼吸器用ポンベの軽量化、消防備蓄品などの整備・充実を図り、複雑多様化する災害に対処できるようになった。 空気呼吸器用ポンベ更新数 31本 消火薬剤購入量 500	ポンベ更新数 31本	隊員の安全確保と災害による被害の軽減を図るため。	継続